

石垣市立八重山博物館(新館)建設事業 ～新博物館建設及び現博物館跡地利用について～



2026(令和8)年2月4日
石垣市

1. サウンディングの目的

◆現在ある石垣市立八重山博物館は、市街地に位置しており、立地は良いものの、施設の老朽化と狭隘化が、長年課題となっている。

◆令和4年に博物館法が改正され、博物館は、社会教育法(昭和二十四年法律第二百七号)及び文化芸術基本法(平成十三年法律第百四十八号)の精神に基づき、文化観光その他の活動の推進を図り、地域の活力の向上に寄与するように努める、とされた。

⇒この法律で言う「文化観光」とは、有形又は無形の文化的所産その他の文化に関する資源の観覧、文化資源に関する体験活動その他の活動を通じて文化についての理解を深めることを目的とする観光をいう。

◆その地域の文化を観光資源のひとつと捉えた上で、博物館は、その魅力を発信し、体験させ、訪れる市民、観光客にとって、地域文化をより深く理解させる手助けを求められている。

⇒石垣市では、これらの課題を解決するため、高台移転する新博物館施設とその周辺の賑わいスペース、現博物館の跡地利用を目的に、サウンディングを実施する。

2. 前提となる石垣市の概況①

〔人口〕

石垣市の人口は、令和7年12月現在 49,458 人

〔入域観光客数推計〕

令和7年1月～12月までの入域観光客数は、1,490,152人

令和6年12月までの推計 1,405,543人との比較 106.0%

※令和6年は、過去最高入域観光客数を記録していた

令和7年は、さらに前年を上回り過去最高入域客数に！

クルーズ船は、令和7年1月～12月までの間に、130回寄港した

令和7年度の春先から夏場にかけては、ジンエアー、香港エクスプレス、チャイナエアライン、タイガーエアの定期航空便就航もあり、韓国、香港（中国）、台湾からの訪日外国人観光客が多かった。また、今年からは、台湾－基隆間の定期フェリーが就航する。

このように、途切れることのないインバウンドへの対応も、石垣市には求められている。

2. 前提となる石垣市の概況②

〔観光公害－オーバーツーリズム－〕

石垣島随一の人気観光地である川平湾には、クルーズ船入港時のほか、レンタカー利用、バスツアー利用の観光客が多く訪れる。特に、4,000人から5,000人規模のクルーズ船が来航した際に、公園から溢れた観光客が集落内の民家に立ち入ったり、道路を縦横無尽に歩き回ったりすることでトラブルとなり、地域からの苦情につながっている。

また、西表島は、世界自然遺産に認定されたことで、2025年3月から島内の5つのフィールドで立ち入り人数の制限を設けたが、島自体への入島制限も検討中であることから、今後、石垣島に滞留する観光客の増加も想定される。

川平湾観光におけるクルーズ客の集中
(川平湾の砂浜に人が溢れている)



2. 前提となる石垣市の概況③

〔荒天時の観光・レクリエーション〕

⇒具体例

- ・風が強いと船が出ない(ダイビング、シュノーケリング、グラスボート、離島観光等に影響)
- ・雨が降ると足下が不安(鍾乳洞、マングローブ等のトレッキングは、滑りやすくなるため、小さなお子様連れ、高齢者は注意が必要)
- ・展望台に行っても眺望が良くない
- ・市街地の文化財(旧宮良殿内、権現堂など)を散策することも困難
- ・屋外施設の体験等に影響(例えば、民間施設の石垣やいま村など屋外に設置された施設の見学や動物とのふれあい体験など)
- ・車椅子を利用した観光客には、特に不便を強いることになる

⇒日常的には、大型バスの受け入れができる全国チェーンのスーパーマーケットやドラッグストア、総合ディスカウントストアなどに集中する傾向がある。

一方、市民も・・・

雨の日の休日、暑い日、平日であっても小さなお子様を連れた女性等々の、くつろげる場所が不足

市民の学びの場・憩いの場、国内外の観光客の受け入れ先としての「博物館」

3. 現博物館の状況

〔主な展示物等〕

現在の博物館は、主に歴史・考古・民俗資料を扱う「歴史博物館」である。

収蔵しているものの中には、国の重要文化財である「蔵元絵師画稿類（宮良安宣旧蔵）」のほか、沖縄県指定、石垣市指定文化財など、貴重な資料が含まれている。

現博物館では、駐車場が6台ほどしかなく、大型バスが利用できないことに加え、1学級受け入れると常設展示室がいっぱいになるため、修学旅行などの団体受け入れに苦慮している。

なお、現在の年間利用者数は、1万人前後で推移している。

※新博物館では、需要の多い自然、美術分野を含めた「総合博物館」を目指し、団体の受け入れも積極的に行う計画である。



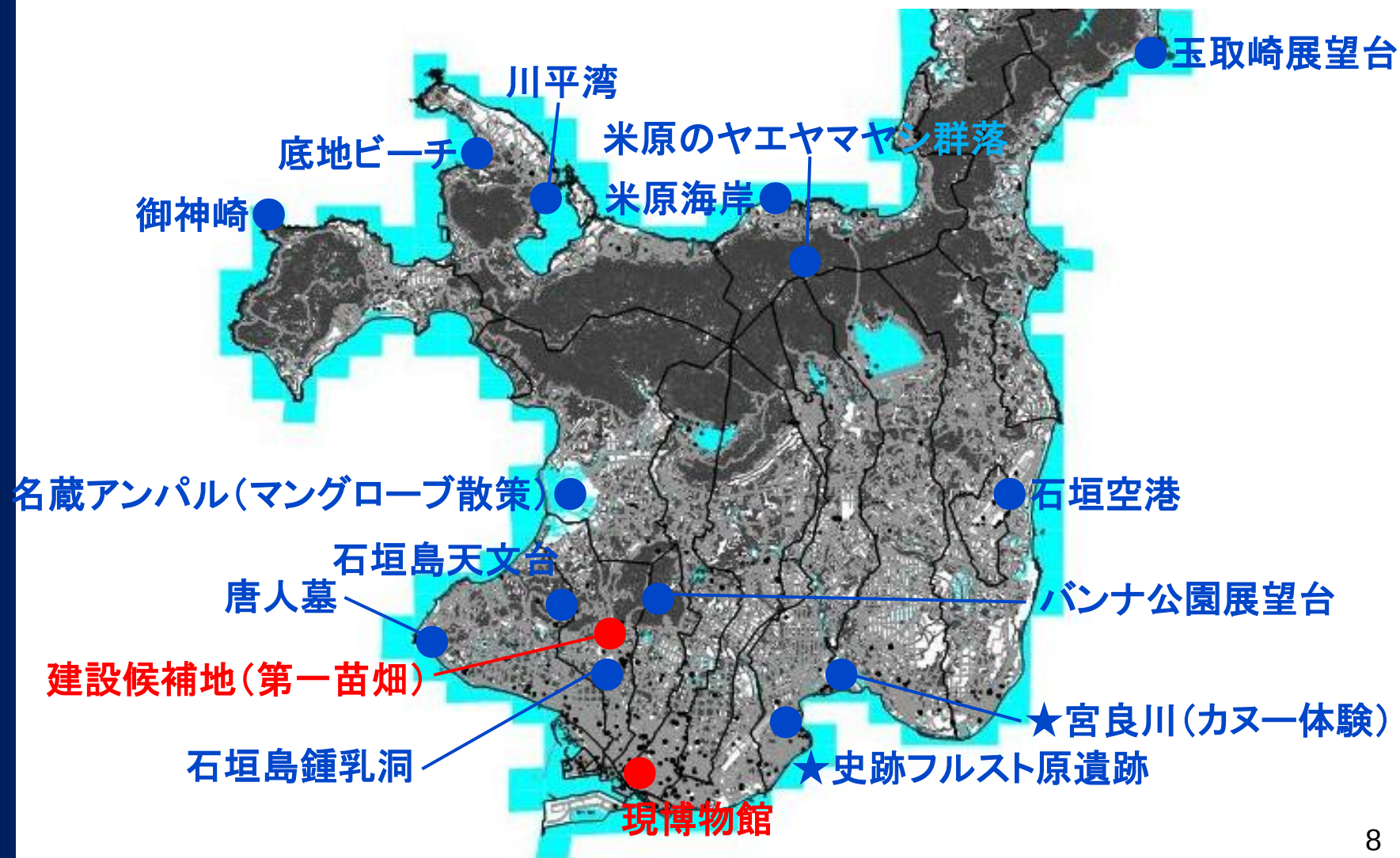
4. 候補地

先に示したように、石垣市が新しく作ろうと考える新博物館は、社会教育施設としての役割に加え、国内外からの観光客を受け入れ、効果的なインタープリテーション(**自然や歴史・文化の魅力や価値を紹介し、地域と来訪者を結びつける活動**)を行うことを目指しています。

ご提案いただきたい土地は、2カ所あります。

4. 候補地 位置関係①

青字は、沖縄県『令和6年度観光統計実態調査』「(4)八重山圏域における立ち寄り先」に挙げられた観光地やその他施設等



4. 候補地 位置関係②



5. 提案いただきたいこと ①新博物館及び周辺施設の整備

同地には、博物館及び周辺施設(民間収益施設)の整備を予定

主として、賑わいスペースの部分の活用をご提案いただきたい

例として、次のような施設⇒博物館敷地内であることを踏まえ、①ミュージアムショップ・地域に関連した土産物屋、②休憩ができるカフェ、③博物館展示とのコラボや地域行事等に関連したものも味わえる食堂やレストラン、あわせて、④地域のこども連れが長時間楽しむことができる娯楽・屋内スポーツ施設、⑤イベントができる広場 等

新博物館建設

整地、博物館施設整備 ※建設手法・管理・運営方法について良い案があればご提案を！

※この部分は、基本的には、石垣市直営とする方針です

収蔵庫や展示室の作り方、温湿度管理、収蔵庫・事務室・展示室への動線、展示室内の導線の作り方などについては、ご提案いただくほか、担当学芸員も一緒に検討いただきたいと考えています。

賑わいスペース

整地、施設建築、駐車場(博物館・商業施設兼用)整備、管理・運営

5. 提案いただきたいこと ①新博物館及び周辺施設の整備

所在地:石垣市字石垣1403番1 ほか

地 積:24,398㎡(全体では38,437㎡あるが、14,039㎡は保安林のため基本的に使用不可)

うち、博物館建設に4,000㎡弱利用予定

延床面積 6,600㎡を検討中。

⇒博物館建設と賑わいスペースの設置場所については、**要相談**

山手の部分に森林法に係る開発不可の地帯がある

駐車場については、博物館、商業施設兼用とする

⇒博物館施設は、年に2回ほど館内の害虫駆除、殺菌などを目的とした有毒ガスを館内に注入する**ガス燻蒸**があるので、その期間は博物館に近づかないで良い設計にする

建ぺい率:80%

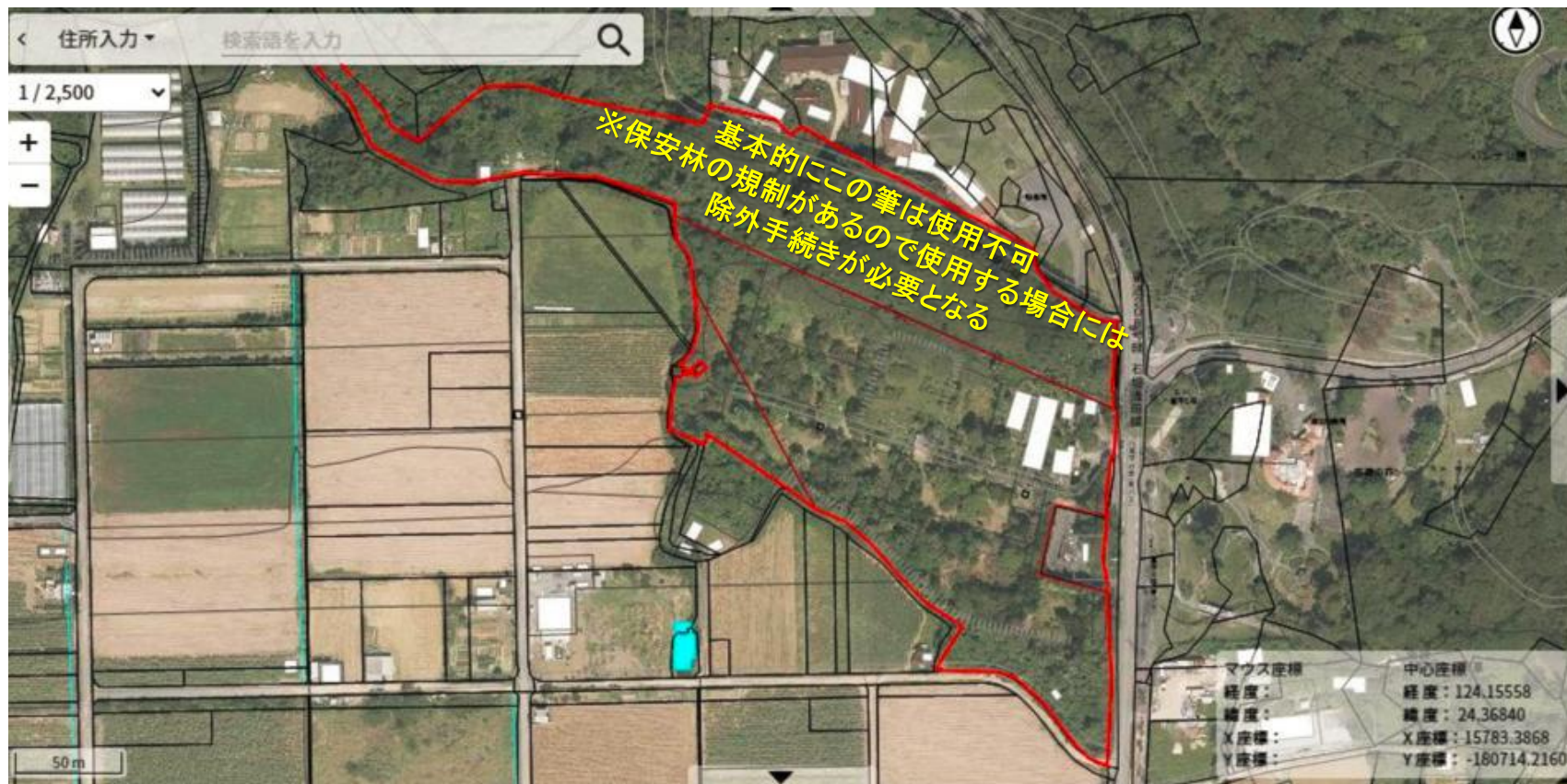
容積率:200%

5. 提案いただきたいこと ①新博物館及び周辺施設の整備



地形測量図及びボーリングデータはでき次第、データによる提供可

5. 提案いただきたいこと ①新博物館及び周辺施設の整備



地形測量図及びボーリングデータはでき次第、データによる提供可

5. 提案いただきたいこと ①新博物館及び周辺施設の整備

【課題】

- 1 地形測量及びボーリング調査の結果について
地形測量及びボーリング調査の実施が、令和8年度にずれこむ見込み
成果納品は、令和8年9月から10月頃になる見込み。
本事業に興味があり、希望する事業者には、納品され次第、データを提供
する予定。
- 2 敷地周辺について
第一苗畑の敷地周辺には、民家がほとんどない。
そのため、徒歩による施設利用は少ないと思われる。
しかしながら、沖縄県が公表した『令和6年度観光統計実態調査』「(4)
八重山圏域における立ち寄り先」に至る通過地点に建設予定地がある
ため、駐車場を整備することで、市民、観光客を獲得することが可能で
あると考える。

5. 提案いただきたいこと ②現博物館用地の利活用

基本的に自由提案であるが、**施設内に美術展示が行えるスペースを設ける**など文化的活動についてもお提案いただけると、なお良い。

整地、施設建築、管理・運営（石垣市蔵元駐車場を含む）

※現博物館の利用または解体については、要相談

※新博物館へ資料引っ越し後に工事可能

所在地：石垣市字登野城4番地1ほか

地 積：1798.75m² ※蔵元駐車場面積は含まれない

建ぺい率：80%

容積率：400%

5. 提案いただきたいこと ②現博物館用地の利活用



5. 提案いただきたいこと ②現博物館用地の利活用



5. 提案いただきたいこと ②現博物館用地の利活用

【課題】

1 建物の取り壊し時期について

現博物館施設を活用しないのならば、現在、八重山博物館内にある資料(民俗資料や古文書を含む歴史資料など)を適切な場所に引っ越してから取り壊し作業となる。

新館の建物が完成し、枯らし期間※が終わってからの可能性が高い。

※枯らし期間：博物館施設等で行われる建物完了後から行われる建物の有害ガスを出し尽くすための期間で、枯らし期間終了後に資料の搬入を始める

2 文化財調査について

隣接する石垣市蔵元駐車場には、八重山蔵元跡遺跡があり、埋め戻しにより保存されている。その関連で、近接する土地である博物館敷地は建物を取り壊す際に、改めて試掘調査や発掘調査の可能性がある。

※建物の解体費用(加えて発掘調査の可能性もあり)等については、

要相談

5. 提案いただきたいこと ③まとめ

①第一苗畑部分について 1

- ・新博物館建設
整地、博物館施設整備 ※管理・運営については良い案があればご提案を！

②第一苗畑部分について 2

- ・賑わいスペース
整地、施設建築、駐車場(博物館・商業施設兼用)整備、管理・運営

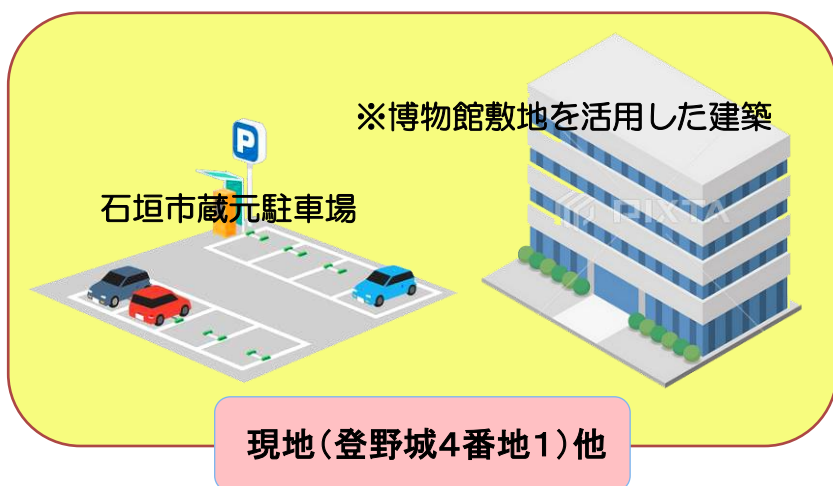
③現博物館部分

- ・整地、施設建築、管理・運営(石垣市蔵元駐車場を含む)
※現博物館の利用または解体については、要相談
※新博物館へ資料引っ越し後に工事可能
基本的には、①+②+③で提案する

②と③については、

原則、石垣市からの支出は、ないものとする

5. 提案いただきたいこと ③まとめ



民間活力導入を検討すること

★商業施設及びイベント広場などの整備について、民間活力の導入を想定する。

イベント広場的要素を取り入れたり、屋外ライブなどでの敷地の貸し出し、子供向け遊戯施設など、誘客部分に民間活力を導入する。

屋外にミュージアムショップをかねた土産物屋やカフェ、その他飲食店、遊技場等を誘致し、博物館を利用しない市民、観光客であっても、博物館の敷地内で時間を過ごせる空間づくりに民間活力を導入してもらう。ただし、**公共不動産の活用**であるため、公序良俗を意識すること。

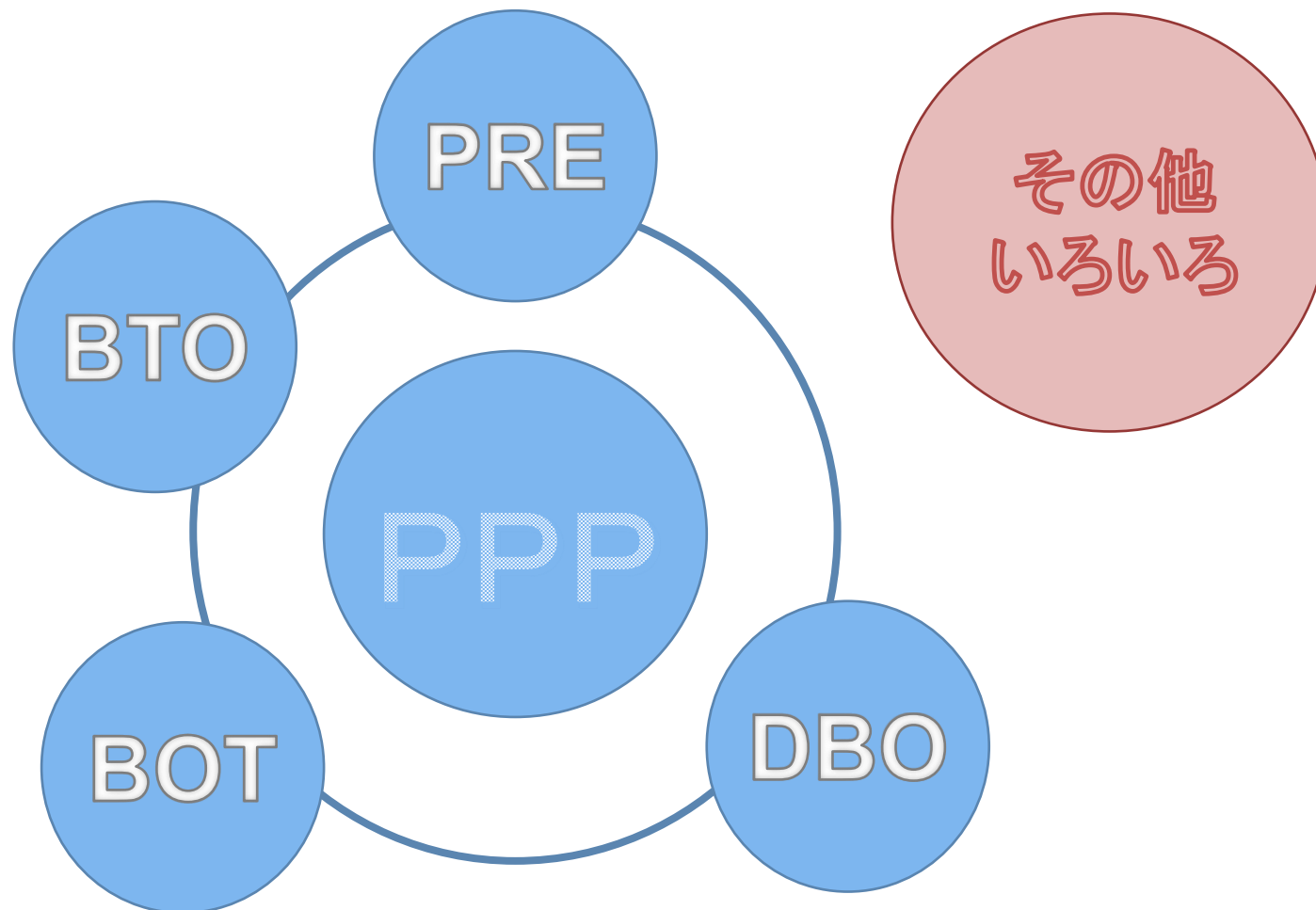
★事務所・商用施設及び蔵元駐車場運営

現地は市街地に近く、離島ターミナルやクルーズバスからの利用客を取り込みやすい。商用施設の建設・運営を含めて、民間活力で実施してもらいたいと考えている(運営は受託者に任せる)。

蔵元駐車場は、運営を任せ、収入が受託者に入ることを想定している。

6. おわりに

民間事業者の皆様には、いろいろなアイデアがあると思います。
新しい博物館の建設を実現するため、さまざまな実現可能性の高いご
提案をいただきたいと考えています。



6. おわりに

石垣市立八重山博物館(新館)基本計画については、石垣市のHPで全文公開しています。石垣市観光文化課のページを開き、さらに博物館建設準備室のフォルダを開きます。そこから、PDFで全文ダウンロードできます。

現在の位置

[ホーム](#) > [組織からさがす](#) > [観光文化課\(0980-82-1535\)](#) > [博物館建設準備室](#)
> 石垣市立八重山博物館(新館)基本計画の公開について



石垣市立八重山博物館(新館)基本計画の公開について

更新日：2025年03月31日

新博物館の基本計画を策定しました

令和6年度に実施した石垣市立八重山博物館(新館)基本計画策定委員会において議論された内容を基に、基本計画を策定しました。

本書では、策定委員会でのご意見のほかに、年度内に実施したアンケートやパブリックコメントの内容も参考にしています。

新しい博物館を心待ちにしている皆様のためにも、早期建設を目指します。

基本計画PDF版はこちらから
[石垣市立八重山博物館\(新館\)基本計画\(PDFファイル:4.2MB\)](#)

博物館建設準備室

- ・ [【新博物館建設】これまでの流れ](#)

- ・ [どんな博物館がいいのかな？](#)

- ・ [石垣市立八重山博物館基本計画策定委員会](#)

- ・ [石垣市立八重山博物館\(新館\)基本計画の公開について](#)

- ・ [石垣市立八重山博物館\(新館\)基本計画策定に伴うパブ](#)22

ご静聴、ありがとうございました

ご興味、ご関心のある事業者様は、下記にお問い合わせをお願いいたします。令和8年2月末まで、受付予定です。
⇒期間延長がある場合には、観光文化課HPで告知します

石垣市 企画部 観光文化課 博物館建設準備室

電 話：0980-82-1535

担 当：西銘・島袋

メー ル：kankou@city.ishigaki.okinawa.jp

※または、島袋の名刺のメールアドレスまで